

## 令和3年度事業計画

少子高齢化が急速に進行し人口が減少する中、国は経済社会の活力維持のため、全ての人々がその特性・強みを活かして活躍できるよう環境整備を進めています。

特に、人生100年時代を迎える中、元気で働く意欲にあふれ、豊かな経験と知恵を持っている高齢者が働くことができる環境を整備し、生涯現役で活躍できる社会を創ることが重要となります。

「高齢者等職業安定対策基本方針」には、「多様な形態による雇用・就業機会」の中で、定年退職後等に、臨時的・短期的又は軽易な就業を希望する高齢者に対しては、地域の日常生活に密着した仕事を提供するシルバー人材センター事業の活用を推進すると掲げています。

シルバー人材センターの活用は、「定年制の廃止」や「定年の引き上げ」、「継続雇用制度の導入」と並んで、高齢者の雇用確保の大事な手段の一つです。

全国シルバー人材センター事業協会が進める「第2次会員100万人達成計画」は、政府が進める高齢者就業施策の方向性をふまえ、会員拡大計画の推進を図るものです。

当シルバー人材センターにおいても会員拡大に一層の努力をしていきます。同時に、安全就業徹底の取り組みを強化していきます。

当シルバー人材センターにおいても、ここ数年事故が絶えません。「事故ゼロ」を目指し、事務局はもとより会員一人ひとりがあらためて安全就業に対する意識を高める必要があります。

さらに、令和2年度は「新型コロナウイルス」感染症が広がるという未曾有の出来事が起きました。特に高齢者は重症化のリスクが高いと言われています。ワクチン接種、治療法の研究が進められていますが、完全に収束するまでには数年かかるという専門家の意見もあります。シルバー人材センターにおいても会員、役職員の感染を防いで健康を守るため、健康状態のチェック、事務所の換気、消毒等を引き続き実施します。

シルバー人材センターの役割である、会員の就労支援、高齢者福祉、健康の保持増進のため、仲間を増やし、生きがいを見つけ、地域社会への貢献に寄与できるよう、会員及び役職員が一丸となって次の事項を推進します。

## I 基本方針

- 1 会員の入会促進
- 2 就業機会の確保・拡大
- 3 安全・適正就業の推進・強化
- 4 広報・周知活動の強化
- 5 会員組織活性化の推進
- 6 社会貢献活動の推進
- 7 健全な財政運営の推進

## II 事業目標

- |        |        |
|--------|--------|
| 1 会員数  | 270人   |
| 2 契約金額 | 1億4千万円 |

## III 事業実施計画

- 1 会員の入会促進
  - (1) 会員による口コミ及び会員紹介カード事業の推進
  - (2) 定例（月1回）の入会説明会及び地域ごとの事業説明会の実施
  - (3) リーフレットや会報等の配布による新規入会の促進
  - (4) 高齢者活躍人材確保育成事業等を利用した新規入会者の発掘
  - (5) 女性会員及び団塊世代会員の入会促進
- 2 就業機会の確保・拡大
  - (1) 新規及び継続発注者等への役員等による訪問
  - (2) リーフレット等の配布による就業機会の拡大
  - (3) 連合と連携を図ったシルバー派遣事業の推進
  - (4) 高齢者活躍人材確保育成事業等を活用した技能後継者の育成・発掘
  - (5) 高齢者世帯・子育て世帯への就業開拓
  - (6) 職業紹介事業の実施

### 3 安全・適正就業の推進・強化

- (1) 会員の健康診断受診の奨励
- (2) 安全看板掲示等による広報及び啓発活動の実施
- (3) 安全委員会の開催及び定例・臨時安全パトロールの実施（随時）
- (4) 講習会及び職群班会議等による安全就業等の推進
- (5) 連合と連携した安全・適正就業への取り組み強化
- (6) ワークシェアリングの推進
- (7) 会員の安全意識向上への取り組み強化
- (8) 新型コロナウイルス感染防止の推進

### 4 広報・周知活動の強化

- (1) リーフレット、会報等の配布
- (2) ホームページや市広報及び公民館報等による PR 活動の推進
- (3) のぼり旗による PR
- (4) 報道機関への情報提供

### 5 会員組織活性化の推進

- (1) 地区組織の強化
- (2) 職群班及び就業会員会議の開催
- (3) 会員互助会の活性化
- (4) 互助会と連携した事業の開催

### 6 社会貢献活動の推進

- (1) 会員互助会活動の支援

### 7 健全な財政運営の推進

- (1) 受注業務の積極的開拓
- (2) 行政及び公的機関との連携強化
- (3) 経費節減に努め、財源の有効活用を図る